

マリンレジャー安全レポート

第18号(平成18年12月)

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan-7@kaiho.mlit.go.jp



瀬渡しし船全焼！ 船長14時間漂流

11月29日午前6時45分頃、長崎県平戸島南端の西海上で通航船が炎上中の船舶を認めたが、付近に人影は見当たりませんでした。佐世保海上保安部で調査したところ火災船は瀬渡しし船F丸(約10t)で、船長の男性(52歳)が行方不明となりました。海保や長崎県水難救済会等で捜索中のところ、午後4時頃、水難救済会の捜索船が平戸島南西約4kmの海上で漂流中の船長を発見救助しました。

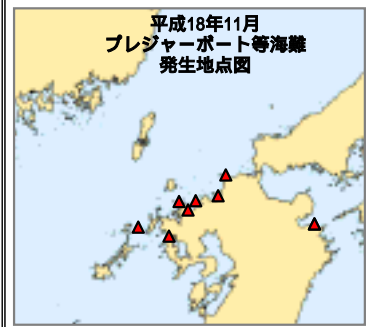
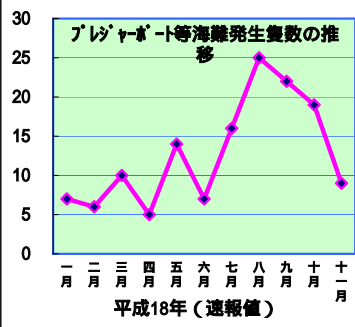
救助された船長によりますと、釣り客を乗せるため宇久島から平戸島に向かう途中の午前1時10分頃、機関室から出火、火勢が強く自力消火できず、同1時30分頃、救命胴衣を着て、救命浮環を腰に付け海に飛び込んだとのこと。救助されるまで約14時間漂流したことになりますが、生命には別状はありませんでした。

全焼状態の瀬渡しし船F丸



～事故からの教訓～
無事救助に至ったのは船長がライフジャケットを着用していたのが大きな要因です。海水温度も比較的高かったようですが、災難は時を択びません。突然の事故のためにも乗船中は常時着用が基本です。船長は、携帯電話で助けを求める際、慌てていたため海に落としたそうです。

プレジャーボート等の海難(11月)	
合計 9隻	
衝突	3
乗揚	0
転覆	3
浸水	1
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	0
火災	1
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	0
安全阻害	0
その他	1



11月の海難から

11月は、全体の海難隻数は減少していますが、小型船の転覆・浸水海難が増加、これに伴う海中転落者が急増しています。何れも気象海象不注意、小型船の船内移動中の動揺によるものです。
これからの季節、特に気象海象が厳しくなり、冬の海での海中転落は、即人命に係わる重大な事故に繋がります。出港前の気象・海象情報の事前確認、無理のない航海計画、早めの避難措置に心掛けてください。

小型船舶の機関取扱い ～シリーズ～



機関の故障や整備不良による海難が急増しています。
今月号から、数回に分けて「小型船舶の機関」の取扱いについて、参考資料をシリーズで掲載します。日頃の整備点検等に役立てて、沖で困らないようにしましょう!!



Q-1 オイルが減った！なぜ

エンジンの燃焼工程で、オイルも燃焼します。
燃料室へのオイル侵入がオイル量の減少を招くこともあります。

バルブ系からの進入

ピストリング合口からの進入

ブローバイガス再燃焼システム中のオイル分が吸入空気と一緒に燃える。

船外機は自動車に比べて高い回転数で働いています。

使用回転が高い程オイルは燃焼しやすくなります。
時速約50kmで運転したときのエンジン回転数

一般的なボート

最大出力: 約1.8hp
最大出力: 2200rpm/6,000rpm
2L~F 54km/h (90%) : 6,000rpm

一般的な自動車

最大出力: 約1.6hp
最大出力: 5000rpm/6,000rpm
2L~F 60km/h : 1,200rpm
2L~F 100km/h : 2,000rpm

注記: 上記データは、同一排気量(3,000cc)のエンジンで比較したものです。

アドバイス 全開回転数より10%程度知った回転数を下げて、運転するようにして下さい。

必ず! 運転前にオイルレベルゲージで、オイルが規定量あるか、確認してください。

救命胴衣着用推進運動 ～山口県川尻岬周辺～



救命胴衣着用を磯釣り愛好者を指導

12月2日から11日までの10日間を救命胴衣着用推進運動期間と定め、仙崎海上保安部、長門警察署、長門市消防本部、九州磯連山口県支部が合同で磯釣り愛好者に救命胴衣の着用について指導を強化します。

期間中の土・日曜は長門市の川尻岬や津黄海岸周辺の磯場において救命胴衣の着用や事故を防ぐために気をつけることなどを呼びかけます。

2、3日の両日は、41人の釣り人が確認されましたが、救命胴衣着用者は半数程度でした。

昨年、七管本部管内では釣り中の事故で12人が亡くなっています。その殆どは海中転落でした。本年11月末では昨年と同数の釣り人が亡くなっています。

助かるためには何が必要か。自己の安全と家族の安心のためにも考えて実行していただきたいと思ひます。

釣り中（磯、護岸等）の海中転落者の生存率（H13～H17全国統計）

救命胴衣着用	救命胴衣非着用
81%	51%

（財）日本釣振興会のホームページで、海釣り安全対策キャンペーンとして、ライフジャケットに関する標語を募集の記事を見つけましたのでご紹介します。



大賞 「つけましよう エサより先に 救命具」

優秀賞 「救命具 それは釣り場の パスポート」

「身に付けて 海の知識と 救命具」

「ライフジャケット 釣りする人の ライセンス」



海の相談室だより (七管本部海洋情報部)

2007年七管管内各地の「初日の出」情報

長門市 妙見山展望公園 7:19	唐津市 八幡岳山頂 7:18
萩市 見島長尾ノ鼻 7:21	佐世保市 国見山展望台 7:19
宇部市 初・ラ・ビーチ 7:20	長崎市 権現山展望公園 7:20
下関市 火の山公園 7:18	島原市 俵石展望所 7:17
北九州市 白野江海岸 7:21	五島市 鬼岳山頂 7:23
北九州市 皿倉山山頂 7:17	壱岐市 石田町権現山 7:24
添田町 英彦山山頂 7:14	対馬市 清水山城跡 7:26
太宰府市 宝満山山頂 7:16	杵築市 奈多海岸 7:17
大牟田市 三池山山頂 7:17	別府市 鶴見岳山頂 7:11
神崎市 脊振山山頂 7:16	竹田市 祖母山山頂 7:09
鹿島市 蟻尾山総合公園 7:21	佐伯市 鶴御崎 7:12

初日の出の方向は、各地とも「東南東」で、初・ラ・ビーチ、火の山公園、白野江海岸、鬼岳山及び清水山では天気が良ければ水平線から太陽が上る姿が見られるでしょう。

日の出の時刻は、太陽の上辺が水平線に接する時刻です。標高が高いほど日の出が早くなり、太陽が昇る方向に山などの障害物があると、実際の日の出時刻は遅くなります。

なお、海上保安庁提供Webサイト [URL:http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOHO/hatsuhi/](http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOHO/hatsuhi/) では全国の初日の出時刻情報を提供するとともに、お好きな場所の初日の出時刻が計算できます。「初日の出時刻計算フォーム」を利用する場合は、簡易計算のため計算結果が1分程度異なることがありますので、使用に際してはご注意ください。



編集後記

早いもので今年も残すところ、あと半月余りとなりました。当室ではマリンレジャー愛好者の事故と死者の減少を目標に取り組みでまいりました。

11月末現在では、昨年同期に比べてプレジャーボートの海難隻数は約1割減少しています。また、海浜でのレジャーでは、釣り中の事故は増加していますが、その他は減少しています。

陸上では飲酒による交通事故の絶滅に向けて、会社や団体

そして地域等々で「飲んだら乗るな」の意識や取り組みが大きく広まっています。

海上での事故防止についても、関係団体等の取り組みにより傘下関係者、そして一般・個々のマリンレジャー愛好者への安全意識拡大が図れるものと思われます。引き続き、関係団体等の皆様方の更なる海難防止活動の推進とご協力をお願いいたします。

年末年始に海に出られる方もあろうかと思われまふ。無事故で良いお年をお迎えください。

来年もよろしくお願ひいたします。